

2014年度 修学院フォーラム 福祉 第2回

公益財団法人
日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

福祉はひとの誕生から死まで、さまざまな場面でひとと寄り添い、ひととともに生きようとする営みです。さらに、喪失の悲しみは、残された者に死によって終わることのない生の意味を問いつづけます。介護、終末期医療、葬送など、人生の局面を通して、われわれ自身のいのちと福祉のあるべき姿をともに考え、ともに語り合しましょう。

ほどほどに去る ～終末期医療の現場から～

講師 徳永 進 (野の花診療所院長)

学ぶなら自然にだろう。いつも青天、いつも星空、ということはない。曇天で吹雪で猛暑で豪雨だったりする。人は春か秋の日の、美しい穏やかな日だけを求めがちになる。自然の生き方を、人は学べるだろうか。

子供も成長も、教育も老いも、病いも死も、美しさや穏やかさだけを望まれてもかなうまい。人間たちの工夫は、戦争死をお互いがどう避けるか、に集約されるべきなのだろう。

多くを望むことは避けたい。ほどほどに生き、ほどほどに去る。去ると何かが生まれ始める。

日時 2014年 5月24日 (土) 13:30～16:30

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,000円、学生 500円 (コーヒー込み)

* 5月21日までに FAX(裏面)、電話、電子メール等でお申し込み下さい。



徳永 進 TOKUNAGA Susumu

1948年、鳥取県に生まれる。京都大学医学部を卒業。京都、大阪の病院・診療所を経て、鳥取赤十字病院の内科医に。2001年12月、鳥取市内にホスピスケアのある19床の有床診療所「野の花診療所」を始める。今年で11年目となる。

1982年『死の中の笑み』(ゆみる出版)で、第4回講談社ノンフィクション賞を受賞。1992年、第1回若月賞(独自の信念で地域医療をしている人に贈られる)を受賞。

著書には『隔離』(ゆみる出版)、『医療の現場で考えたこと』『老いるもよし』(岩波書店)、『野の花診療所まえ』(講談社)、『死ぬのは、こわい?』(イースト・プレス)、『詩と死をむすぶもの』、谷川俊太郎さんとの共著(朝日新書)、

『てんしさん』(関西看護出版)、『野の花ホスピスだより』(新潮社)などがある。最新刊は『こんなときどうする?』(岩波書店)

- ◎スケジュール◎
- | | |
|-------------|-------------|
| 13:30～15:00 | 挨拶・講師紹介 |
| 13:35～15:05 | 講演・発題 |
| 15:05～15:35 | コーヒーブレイク |
| 15:35～16:20 | 質疑とほなしあい |
| 16:20～16:30 | まとめとアンケート記入 |



2014度 修学院フォーラム

福祉 第3回 2015年3月7日 (土)

「「葬儀と墓」は誰のために、何のために～キリスト教と仏教の立場から考える」

講師：池口 龍法 (知恩院僧侶)・塚本 潤一 (頌栄短大准教授)

いのち 第1回 7月19日 (土)

「メディカル・コントロールと新・優生思想の時代」 講師：児玉 真美 (作家)

第2回 2015年1月24日 (土)

「福祉とスピリチュアリティー社会福祉の根源にあるもの」(仮)

講師：木原 活信 (同志社大学社会学部教授)

第3回 2015年2月28日 (土)

「グリーフケアを考える」 講師：高木 慶子 (上智大学グリーフケア研究所所長)

社会 第1回 11月1日 (土)

「科学者の原罪と社会的責任」 講師：政池 明 (京都大学名誉教授、物理学者)

第2回 11月8日 (土)

「特定秘密保護法」(仮) 講師：佐藤 優 (文筆家)

第3回 2015年1月11日 (日)～12日 (月・祝)

「原発をどう位置付けるか」

「環境経済学の観点から」 講師：植田 和弘 (京都大学大学院経済学研究科長)

「神学の観点から」 講師：西原 廉太 (立教大学副総長)

【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117 (直)

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

所長代行 榎本 栄次

担当 都木かおり



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

2014年度 修学院フォーラム「福祉」第2回 参加申込書

(フリガナ)	
名前	所属
住所〒	
電話 ()	FAX ()
電子メール:	@
通信欄:	